

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
半田歴史文化を辿るまち地区

令和2年5月

愛知県半田市

1. 数値目標の達成状況の確認（確定値）

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	人/年	221,001	235,498	249,484	確定	○	あり	223,767	R2年5月	△	<ul style="list-style-type: none"> ■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる 	半田運河周辺・岩滑地区における景観形成事業等により地域全体としての魅力が向上し、半田の歴史や文化を感じられるまちづくりが強化されてきている。また、ミツカンミュージアムへの来場者数の増加により指標に定める3施設全体の年間来場者数が増加していたものの、新型コロナウイルス感染拡大防止のために3月休館となったことが原因で差異が生じた。 (施設の休館がなく、前年度と同じ来場者数だった場合の3施設の来場者数の合計値は225,916人/年であり、休館前までは目標を達する施設利用が図られていたことが確認できる。)	
指標2	Pt	0.80	1.42	6.94	確定	○	あり		R 年 月		<ul style="list-style-type: none"> □ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる 	半田運河周辺や半田赤レンガ建物周辺等において、本市の地域資源・歴史を活かした景観形成に資する事業を継続的に実施してきたことにより、半田らしい景観が形成されているエリアが線的・面的に広がってきている。このような継続的で一貫した取り組み等によって、市民の景観に対する満足度が向上し、まちへの愛着や誇りの醸成につながった。	
指標3	Pt	1.15	2.30	4.94	確定	○	あり		R 年 月		<ul style="list-style-type: none"> □ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる 	昔から市民に親しまれている雁宿公園の再整備や、任坊山公園において市民が自然と触れ合える水辺空間の整備を行っている。このように、公園の整備を進めてきていることによって、市民の公園・緑地がきちんと整備されていることに対する満足度が向上した。	
指標4					確定		あり		R 年 月		<ul style="list-style-type: none"> □ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる 		
指標5					確定		あり		R 年 月		<ul style="list-style-type: none"> □ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる 		

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標 1	半田赤レンガ建物の来場者数	人/年	319,892	532,536	確定			476,924	R2年5月		新型コロナウイルスの感染拡大防止のために3月休館となったことが原因で差異が生じた。 <input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	計画的に半田赤レンガ建物や建物周辺の整備を行ったことで、来訪者の新たな交流の場が創出されるとともに、屋外トイレや観光バス停留所の整備等によって施設利用の利便性・快適性の向上が図られた。このような取り組み等によって、半田赤レンガ建物の魅力が高まり、年間来場者数が増加した。 (新型コロナウイルス感染拡大防止のために休館したことで評価値よりも低い数値に留まったが、従前値を上回る来場者数となった。)	
その他の数値指標 2	景観形成の取り組みによる「まちへの愛着や誇り」の向上	Pt	0	5.42	確定				R 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	半田運河周辺や半田赤レンガ建物等、本市の地域資源・歴史を活かした景観形成を進めてきたことや、その半田運河周辺でのイベントなどを通じた市民活動の場や機会の増加により、本計画期間において市民の「まちへの愛着や誇り」が、5年前と比較して高まった。	
その他の数値指標 3	公園利用機会の増加	Pt	0	3.14	確定				R 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	雁宿公園の整備に際して、地域の方の意見も踏まえて憩いの場としての整備を行う等、利用ニーズを踏まえて事業を進めてきたこと等によって、本計画期間において市民の公園利用機会が、5年前と比較して増加した。	

事後評価シート 様式 2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	景観形成に対する取り組み	本事業で半田運河周辺・岩滑地区における景観形成事業等により整備を行い、地域全体の魅力が向上した。更なる景観形成の向上を図るため、補助金の活用を促すチラシ配布を実施した。	景観形成重点地区に対し、補助金を活用してもらうことで景観形成の向上を図ることができた。	今後も引き続き、地域の方に対し景観のPRを行い、景観形成の向上を促す。
	公園に対する取り組み	地域の方の意見や利用ニーズも踏まえた、憩いの場としての公園整備を実施した。	地域の方の身近な公園として多くの来訪者が訪れ、憩いの場として機能している。	今後も引き続き、地域の方に親しまれる公園整備を行い、公園・緑地がきちんと整備されていることに対する満足度の更なる向上を図る。
	観光・交流に対する取り組み	本事業で整備した施設等について、新型コロナウイルス感染拡大防止のために休館やイベントの中止を余儀なくされ、例年よりも少ない来訪者・来場者数に留まった。	継続的な施設の維持管理は行ったものの、左記の通り、観光・交流イベントについては実施できなかった。	withコロナ時代の新しい観光・交流という視点も踏まえた上で、今後も企業や市民と連携したまちづくりの取り組みの継続を図る。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	回遊性向上や地域経済活性化に対する取り組み	半田運河周辺の回遊性向上のため、景観に配慮した人道橋を設置するための測量調査設計を実施した。	次年度の人道橋設置に向け、景観に配慮したデザインの決定、構造決定を行うことができた。	景観に配慮した人道橋の設置により、更なる賑わいの創出と回遊性向上を図る。
	中心市街地全体の賑わい創出に対する取り組み	本市の玄関口でもあるJR半田駅周辺の中心市街地において、連続立体交差と合わせた一体的な市街地の形成を図るため、都市再生整備計画の作成を行った。	都市再生整備計画事業を令和2年度より開始した。	中心市街地において、都市再生整備計画事業の円滑な実施を図る。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項